

# 正念寺だより

永代経法要・本山差向法要を勤修

四月六日、堺市・高照寺住職を講師に、正念寺永代経法要をお勤めさせていただきました。  
三月で東北のボランティア活動を終え、復学した次男も久々に出勤してくれました。



2014年  
4月23日  
発行NO、168



## 行事予定

- ・落語会&コンサート  
五月二十五日(日)  
(裏面参照)

・六月 聞法会

六月 五日(木)

午後二時

法話 護城一哉 師

福井市西雲寺 若院

・6月19日(木)

綾小路きみまろライブ

バスツアー 40名・満員御礼



ます。

人間の本性が表れるのは①腹が立ったとき。②人が見ていないとき。③災害に巻き込まれたとき。といいますが、あらためて自分の都合を最優先している姿が照らし出されました。

大悲無倦常照我(だいひむけんじょうしょうが)

「慈悲」は他のいのちをいつくしむ心です。如来様はかたときともはなれず、私にお慈悲をかけていてくださいます。

合掌

四月二日、本山の春法要(写真右下)に出勤致しました。装束で荷物が多く、少し贅沢をして天王寺からJRの『はるか号』に乗り込みました。しかしその直後、環状線の弁天町駅で、人身事故があり、五十五分ほど停止しました。動く気配のない電車に業を煮やし、遅延による特急料金の払いもどしを車掌さんにたずねると、二時間遅れ以上の場合とのこと。天王寺ー京都は三十九分が正常ダイヤ。まさか二時間は遅れないだろうと怒りをつのらせながら運転再開を待っていました。  
環状線は内回り・外回りとも、六十分遅れで電車は動き出しました。すれ違った普通電車は満員、立ちどうしのお客さんのことを思うと、『はるか号』でゆったり座れていることが幸運だった気づきました。  
そして、翌日の新聞には、人身事故は二十四歳の平野区在住の青年の自殺であったことが報道されていました。私の次男坊も同い年です。なぜ彼は命を絶ったのか、ご家族はどんな心境かと思いをはせると、いたたまりません。  
「腹は立つもの、立てるものではない」と言い